

<クラス会・同窓会だより>

機械34年卒同窓会 令和元年度「常盤山紫会」の報告

西川 容道

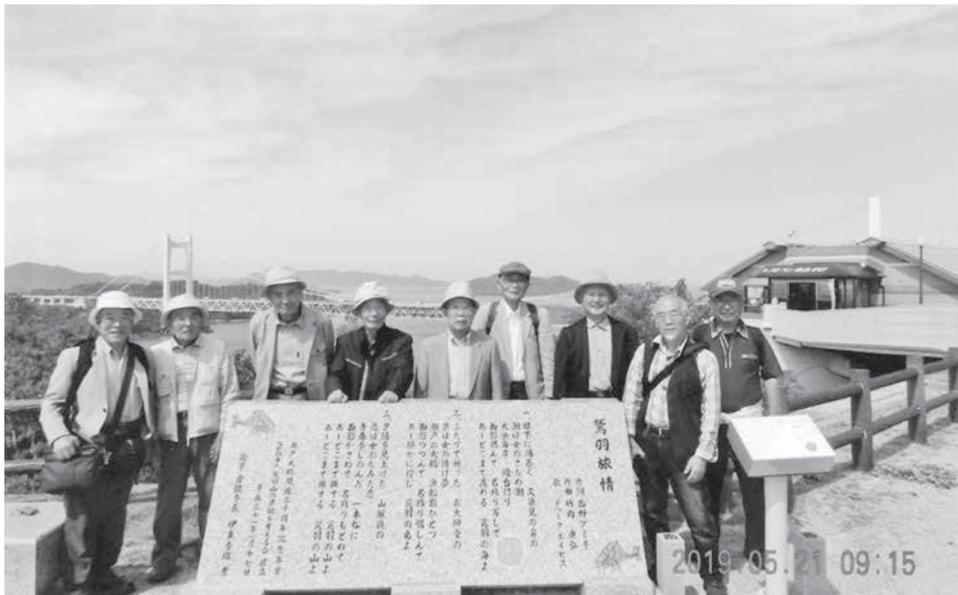
令和元年5月20日に機械34年卒同窓会（常盤山紫会）を開催しました。12時30分岡山駅前の桃太郎銅像前に参加予定の10名が元気な顔で集合し、岡山市後楽園、倉敷市美観地区、鷺羽山・瀬戸大橋の観光に出発しました。

まずは後楽園へ向かいました。ここは日本三名園の一つで、300年の歴史ある大名庭園です。園内には殿様の休憩所、能舞台（通常は非公開）、梅林、桜林、茶畑、築山、池等があり、池や周遊路の周りに植えられた芝生が特徴的です。約1時間園内を散策後、岡山駅へ戻り、JRで倉敷駅へ、駅から美観地区へは徒歩で移動しました。倉敷市は、江戸時代は幕府直轄領でした。美観地区の中央には今では幅10メートルほどの倉敷川が流れてお

り、両岸には白壁、なまこ壁の町家、蔵及び柳並木があり、江戸時代からの風情を残しています。1時間散策後、美観地区のはずれのバス停から倉敷市児島駅に移動し、児島駅前で送迎バスに乗り換えホテルへと向かいました。19時に宴会場に集まり、昨年亡くなった物故者に黙祷後、再会を祝して乾杯、その後は食べたり飲んだりしながら歓談し、例年どおり各自の近況報告をしました。

2日目の朝は、「鷺羽山第2展望台」へバス、徒歩で移動し、瀬戸内海及び瀬戸大橋を1時間ほど眺めた後、JR児島駅へ移動しました。駅近くの観光港にて「瀬戸大橋周遊観光船」に乗船し、45分間のクルージングを楽しみました。近くで見る瀬戸大橋は迫力がありました。それから駅近くの海鮮料理店で昼食をとり、2年後の再会を約束して解散しました。

せわしいスケジュールでしたが皆さんお疲れさまでした。



機械工学科48年卒業 同窓会の報告

荒谷 秀治

令和元年9月14日(土)、15日(日)の2日間、同級生有志12名が広島に集合し旧交を温めました。卒業して46年が過ぎ喜寿を迎える(または迎えた)歳ですが、卒業以来の人も学生時代の顔を思い出し、お互いすぐに君付けで呼び合えました。

広島駅に集合し宮島に向かい、名物のアナゴ飯とビールで昼食、厳島神社を参拝後、にぎわう参道で焼きたたのもみじ饅頭とお茶で一服しました。その後、連絡船と市電で原爆ドーム、原爆資料館へ移動し、戦争の悲惨さと平和の有難さを学んだ後、幹事の後藤君行きつけの居酒屋で懇親会。近年逝去した中村君と森下君の冥福を祈り、各自の近況を語り合いました。とても美味しい料理とお酒で満腹&ほろ酔いとなり充実した1日目でした。

翌日はホテル宿泊者9名と市内在住3名が広島駅で合流し、山陽本線で酒都西条へ。賀茂鶴の専務さん(&街のボランティア)の案内で複数の酒蔵と歴史資料館をめぐり、各蔵で試飲する酒を食前酒とし昼食へ。名物の美酒鍋と日本酒で2日目の乾杯。再会を期し、広島同窓会を終えました。昨年豪雨で延期となり、2年越し、世界遺産2か所ありの密度の濃い楽しい同窓会でした。

今回は2021年、九州か山口で他の同級生も誘い、また楽しくやろ

うと決め、家路につきました。次回幹事は織田君と坂田君です。多くの参加を希望します。

【今回の参加者】

今年退職し、この先の楽しみを模索中で自治会の仕事も務める幹事の今岡君。会社のマイスターで後輩への技術伝承で引き留められ続けている岡山の太石君。今回もカメラを片手に多くのシャッターを切った元写真部、和歌山の岡君。退職後、生家に戻り米作りをしつつ週5日働いている広島の沖村君。佐賀県の教育界と書道界でその名を知られる織田君。近所に住む孫5人のため野菜作りに励み自治会の仕事もする幹事の後藤君。退職後、地元で自治会長をしている佐賀の坂田君。退職後の生活を積極的に楽しんでいる福岡の中島君。退職後は夫婦でゴルフを楽しむ悠々自適の三重の萩野君。企業から三重大学教授に転身し今でも現役の坂内君。管理職時代に大病を患ったが回復し健康のありがたさを痛感している滋賀の松尾君。そして午前中は家庭菜園、午後はプールで体力維持に努める幹事の荒谷の計12名。

